

首都高速道路ラムイントラ～アトナロン線建設事業(Ⅰ)(Ⅱ)



本事業により建設された高速道路

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	36,654 百万円 / 25,881 百万円
借 款 契 約 調 印	1991 年 9 月 / 1993 年 1 月
借 款 契 約 条 件	金利 3.0%、返済 25 年 (据置 7 年)
貸付完了	1998 年 1 月 / 2000 年 5 月

[事 業 概 要]

バンコク特別区北東部地域の人口増加に伴う交通量の増大に対処するとともに、南北方向の交通混雑を緩和するため、同地域において高速道路の南北ネットワークを拡充しようとするもの。

[評 価 結 果]

本事業により、ラムイントラ - ラマ9世インターチェンジ間(第1期区間:全長11.5km)及びラマ9世インターチェンジ - アトナロン間(第2期区間:全長7.2km)にわたる有料道路が建設された。しかし、1997年以降、交通量実績は計画値の40%程度に留まっている。これは、バンコク都庁が本事業の第1期区間に同時期に無料の側道を建設したことが主な原因である(本事業の実施機関はタイ高速道路交通公社)。

また、高速道路のネットワークがまだ不完全であるために、バンコク首都圏の南北幹線道路の渋滞は緩和されておらず、増大する交通需要に対する貢献度は限定的となっている。

本事業では、目的が重複する道路が同時期に他の実施機関により建設され、事業効果の低下をもたらした。計画段階において、当行を含む事業関係者が十分な調査と調整を行い、事業効果発現を阻害する外部要因リスクを阻止する対策を講じておくべきである。